



《キャリアイメージ》

区分	水産			
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修
新規採用 	基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【本庁】 水産課 【地方機関】 農林水産事務所、水産試験場（本場、漁業生産研究所、内水面漁業研究所） </div>	【採用3年目まで】 ・水産職員としての基礎固め ・水産関係法令の基礎知識		【農林水産部研修】 ・新任農林水産部職員研修
技師・主任 （採用後8年間）	基礎的な能力を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。（ジョブローテーション） ① 2ヶ所の所属を経験する。 ② 可能な限り、研究部門と行政部門を経験する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【行政部門】 ・本庁水産課 ・農林水産事務所 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【研究部門】 ・水産試験場（本場、漁業生産研究所、内水面漁業研究所） ・栽培漁業センター（派遣） </div> </div>	【採用8年目まで】 ・個別事業の適確な事務処理 ・水産技術の普及指導に必要な専門知識・技術	【採用8年目頃まで】 ・水産業普及指導員 ・海技士（必要に応じ取得）	・普及指導員新任者研修
主任級 （9年目以降） 	上記①②のジョブローテーションがされていない場合は、そのための異動を行うとともに、水産職のキャリアイメージに留意しつつ、できる限り本人の意向や能力・適性に応じた異動を行い、実務の中心的役割を担う職員を目指す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 漁場環境の保全、栽培漁業の推進、漁港・漁場の整備などの水産業の振興 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 水産技術の普及指導、試験研究 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 漁業調整、水産業協同組合の指導 </div> </div>	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力		
主査級	課題を自ら設定し、取り組むことにより、水産職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ○農林水産事務所を経験 ○実務経験を通じて、水産業の専門能力・技術力を修得 ○地域の課題に適切に対応できる企画・調整力を修得 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ○水産試験場で長期に研究に従事 ○高い専門性と高度な技術を修得 ○職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ○農林水産事務所において現場を経験 ○漁業者や漁協等と関わる中で専門能力・技術力を修得 ○可能な限り本庁を経験させて企画・調整・指導力を修得 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 水産職として、高い専門知識・技術力を有し、高度な企画・調整能力を兼ね備え、総合的な視点から判断し行動することができる職員を目指す。 </div>	・漁業者、漁協等関係団体との交渉力 ・事務・事業の企画・立案力 ・許認可等申請者に対する適切な指導力		
課長補佐級 （主任主査）		・漁業者、漁協等関係団体との調整力 ・水産業に関する技術面での専門知識 ・県民に対する説明力		
課長補佐 （グループ班長）	専門分野のリーダーとしての役割を担って業務を推進するとともに、人材育成など班長として担当グループのマネジメントを行う。	・指導力、管理能力 ・緊急時における対応力		
備考 （その他関連措置）				【時期に応じ自治研修所研修】